

全世代型健康増進拠点施設整備基本設計に関する住民説明会（第1回）
開催結果について

1. 住民説明会の開催概要

日 時：令和8年2月21日（土）（第1部14時～／第2部19時～）
場 所：こっぼーっとホール（大木町総合体育館内）
参加者：延べ32名（第1部19名／第2部13名）

2. 住民説明会での意見・質問の分類及び件数

項目	件数	
	質問	意見 要望
(1) 健康福祉センターの現状について	1件	1件
(2) 住民説明会について	-	2件
(3) 全世代型健康増進拠点の構築について	11件	9件
(4) 全世代型健康増進拠点の運営について	4件	5件
(5) 全世代型健康増進拠点施設整備基本設計について	7件	9件
(6) 全世代型健康増進拠点施設整備基本設計の工程について	3件	-
(7) 全世代型健康増進拠点施設整備基本設計に係るワークショップについて	1件	3件
(8) その他	1件	1件
小計	28件	30件
合計	58件	

3. 住民説明会での意見・質問への回答及び対応について

(1) 健康福祉センターの現状について

① 質問

内容	回答
アクアスの利用者が少しずつ戻ってきているが、令和6年度の利用者数は。	令和6年度は全体で17万5,804人です。そのうち町内利用者数は7万5千人、割合は42.7%となっています。

② 意見要望

内容	回答・対応
アクアスの収益が低いと言われているが、存続していくために料金の見直しも必要ではないか。	料金を上げるだけでは解決できる問題ではなく、経営や公共施設としての在り方、町の投資などトータルで検討し拠点構築の方針を出しています。

(2) 全世代型健康増進拠点構築・施設整備基本設計に関する住民説明会について

① 質問 (なし)

② 意見要望

内容	回答・対応
参加者が少ないのは、関心が薄れているのではないかと。町民の意見を反映できる説明会をやってもらいたい。	前回の住民説明会では、3回開催し、延べ250名の参加者があり、なぜ今回は参加者が少ないのか疑問に思うところがあります。この件に関しては、様々な情報を提供しており、少しずつ理解が得られてきたのかとも思いますが、今後もできる限り多くの方が参加できるよう努力していきたいと考えています。
他のイベントと重なり参加者が少ないのではと思う。日程調整が必要ではないか。	

(3) 全世代型健康増進拠点の構築について

① 質問

内容	回答
新たな施設はどの程度の利用者を想定しているのか。	基本的には町民にサービスを提供する公共施設として町内利用者を想定しており、利用者数は減ると考えています。
参加者の中でこの施設自体が不要と思っている人もいると思う。そのような不要という意見はなかったのか。	これまで住民説明会(第2部)において不要という意見が1件ありました。また、12月に開催した出張町長室では、参加者から公共施設としての温浴施設の優先順位は低いのではという意見が1件出されました。
(多世代交流棟は)解体の方針とのことだが、決定なのか。アクアスを壊すという認識でよいのか。	町としてはこれ以上の投資効果が低いと判断し、機能廃止の方針としているが、機能廃止後の在り方については、附帯施設の配置の検討に際し考えるものとしている。
これからの人口減少などにより、財政面で厳しくなってくると思うが、今行う根拠や背景があれば教えていただきたい。	公共施設等総合管理計画の考え方に基づき、重要な部分についての再投資を行っています。
町としては事業費をどれくらい出せると考えているのか。	算定された概算事業費を精査しながら検討していきます。

アクアスは何も問題ないように思う。町民は、ポンプ室の水漏れなどの箇所を見に行くことができるか。	老朽化については、目に見えない部分がたくさんあります。今回、比較検討のため、大規模改修に係る費用を算定するため再度調査を行います。現地調査も行いますので、その結果を見ていただきたいと思います。
修理する箇所を見ることはできるか。アクアスに言えば見せてくれるのか。	
アクアスを建て直すということで説明会が始まったが、いつの間にか改修になっている。改修なのか建て替えなのか。	これまでの検討委員会などでの検討の結果、健康福祉棟の機能を廃止し、健康福祉棟を拠点とした全世代型健康増進拠点へ転換を図ることとしています。なお、温泉資源の活用のため、拠点の附帯施設としての小規模温浴施設を設置する方針としていますが、議会からの要請により、拠点構築方針との比較検討のため、多世代交流棟を改修し維持していくための費用の再算定を行う予定としています。
健康福祉棟は何か問題があるのか。なぜ改修するのか。	健康福祉棟については、全世代型健康増進拠点の拠点施設としてその機能を発揮させるため必要な改修を行う方針です。
万が一の可能性というのが、どの程度可能性があると考えているのか。	例えば地下にある機械室が、突然機能低下をしてきたとすれば閉鎖せざるを得ません。そうならないよう、責任をもって対応していきたいと考えています。
地下の機械室を地上に上げることについて、どれぐらいの費用がかかるのか。	大規模改修に係る費用について再度調査を行います。その中で地下の機械室の移転に係る費用も算定することとしています。

② 意見要望

内容	回答・対応
町外者の利用も大きな収入となる。町外者の利用についても大切にしてもらいたい。	全世代型健康増進拠点として再構築し、公共施設として財源の範囲の中で運営をしていくとしていますが、町外の利用を制限するものではありません。
人が集まるような施設を作ってもらいたい。多くの人がいないと経営が成り立たないのでは。	
利用者が減るような施設を作ってしまうのか。利用が増えるような施設を作ってもらいたい。	
町内と町外の年会員の会費に差をつけるべきではない。町の人も町外の人を入れる施設を作った方がよい。	
新たな施設のイニシャルコスト及びランニングコストと、既存施設の改修費が分かれば住民も判断しやすいのではないか。	新たな施設のイニシャルコスト、ランニングコストは基本設計時に算定します。なお、議会からの要請により、既存施設を維持する場合に必要な改修費についても再算定することとしています。
附帯施設の温浴施設はいらない。財政的にも無理して作る必要はない。健康福祉棟の充実を図るだけで十分ではないか。	意見として受け止めます。

町長が、施設を建替えるのか、改修するのかの判断する際は、生の声を町民に発信していただきたい。	意見として受け止めます。
議会からの要請の施設を使い続けるのか、新たに建てるのか広く議論したうえで判断してもらいたい。	皆さんとの意見交換とワークショップの中で課題を整理しながら、最終的には町長が総合的な視点から精査するものと考えています。
資料には、改修費 18 億 4000 万円の内訳を書いてもらうと、中身がよく分かると思う。	大規模改修に係る費用を算定するため、再度調査を行いますので、調査結果を皆さんに説明したいと思います。

(4) 全世代型健康増進拠点の運営について

① 質問

内容	回答
全世代型健康造拠点施設は、今までのような指定管理ではなく直営となるのか。	土日祝日も運営することから、基本的には指定管理となるが、直営での運営も検討していきます。なお、収益施設ではないため指定管理の場合は維持管理のための指定管理となると考えています。
町の予算の中だけはジムやレッスンのクオリティは保たれないのではないかと、その点に関してどのように考えているのか。	指定管理者は未定ですが、健康づくり事業は引き続き提供していきます。
健康福祉棟の指定管理者は変わるのか。現在のレッスン内容も指定管理者が変われば変わってくるのか。	
新たな施設は赤字になっても続けていくのか。	収益施設ではなく、公共サービスとして健康増進事業を提供する施設として、予算の範囲の中で運営していきます。

② 意見要望

内容	回答・対応
他の施設は指定管理者を外部団体をとしたこと町カラーがなくなってきている。そのような状況にならないような施設としてもらいたい。	指定管理により、健全な運営とサービスの向上させるためには、指定管理状況をモニタリングする必要があり、現在、そのための制度や要項等を整理しています。
今後の運営は分からないが、ジムに関して指導者の充実を図ってもらいたい。	拠点運営を検討する際の参考とします。
温泉を老人施設などに売ってはどうか。	現在、公社において温泉の販売は行われているようです。
町民の皆様がセールスマンという形で温泉を広めていった方がいいのではないかと。	拠点運営を検討する際の参考とします。
他の市や町が運営する温泉施設が閉館しているが、そのような状況にならないようにしていただきたい。	意見として受け止めます。

(5) 全世代型健康増進拠点施設整備基本設計について

① 質問

内容	回答
昨年度のあり方検討委員会での意見が反映されていないように思うが、どのようになっているのか。	基本設計において反映させ、検討の材料にしていきます。
修理のしようがない、費用がかかるということは聞いているが、施設の横に先に作るということができないのか。	拠点の附帯施設としての温浴施設は、多世代交流と跡地に建て替える案(1案)と、西側町有地に隣に建てる案(2案)があり、今後検討していきます。
第1案となった場合、第2案が採用されなかった理由を説明するのか。	2つの案を総合的な視点から検討します。その過程において2つの案のメリット、デメリットを明らかにし説明していきます。
附帯施設の小規模温浴施設というのはどのくらい大ききなのか。	現在の多世代交流棟の4分の1程度、800㎡程度を考えています。イメージ的には、今の健康福祉棟の健康棟の大ききぐらいになります。
まだ大ききとかは分からないということか。	
建設費用の見込みは。	概算事業費については、9月ごろには算定できると考えています。
プロポーザルで「手島・おばた設計共同体」の方が選定されているが、どのような点が良かったのか。	プロポーザルにおいて、ワークショップを通じて皆さんのともに基本設計を作りたいという点が評価されました。また、温泉資源の活用、環境への配慮、実績、総合的な技術力などの点も評価されています。

② 意見要望

内容	回答・対応
栄養指導室が健康棟にあり、食事や配膳する施設は福祉棟にあるため、一つの建物の方にまとめてもらいたい。	基本設計の検討事項とします。
様々なボランティア団体があるため、ボランティア室は、団体ごとのスペースが分けられるような部屋にしてもらいたい。	
福祉福祉棟の中に、子育ての施設もあれば、そこに子供さんを預けて運動をすることも可能になるのでは。	
附帯施設にサウナを設置していただきたい。	
附帯施設に運動できるスペースがあれば、温泉しか利用しない人も運動になるのではないか。	
浴室壁面に富士山の絵を描いてもらいたい。	基本設計の検討事項とします。
高齢者が集まることができる足湯を作ってはどうか。	
附帯施設には、今の浴槽スペース程度の広さと、サウナ施設等は残してもらいたい。	

健康を支える施設であるならば、ある程度の広さのプールが必要ではないのか。	意見として受け止めます。
--------------------------------------	--------------

(6) 全世代型健康増進拠点施設整備基本設計の工程について

① 質問

内容	回答
基本設計の策定が10月となっているが、ワークショップの3回目が7月、住民説明会が9月とあり、住民説明会やワークショップの意見を踏まえた時に、10月に間に合うのか。	工程については、今回のプロポーザルで選定した設計共同体とも協議しながら精査して策定しており、この工程に基づいて進めていきます。
設計の与条件の確定時期と、住民に説明する時期は明確にされたほうがいいのではないのか。	
私たちが意見を言えるリミットは何月までなのか教えてください。	工程表に示している住民説明会やワークショップの中で意見を伺っていきます。

② 意見要望 (なし)

(7) 全世代型健康増進拠点施設整備基本設計に係るワークショップについて

① 質問

内容	回答
ワークショップの参加者は決まっているか。参加したいと言っても参加できないのか。	ワークショップの参加者は、校区づくり協議会や、中学生、高校生、今まで健康福祉センターのあり方について検討してきたアクアスの利用者の方や住民代表の方、運動指導員などの中から選定していきたいと考えています。

② 意見要望

内容	回答・対応
今後のワークショップでは、前向きな議論を進めるように誘導してもらいたい。	未来推進会議は、多様な人たちを招き入れ、様々な角度から、世代を超えた多世代型の議論を進め、計画作りを進めていきたいと思えます。
ワークショップを通じて、一人ひとりの意見をすくい上げていただきたい。	
未来推進会議には建設課が関わる必要があるのではないか。	意見として受け止めます。

(8) その他の意見

内容	回答・対応
体育館や子育て交流センターは避難所になっているが、長期的な避難などが起きた場合に備え温浴施設は確保する必要があると思う。	子育てセンターについては別途、庁舎西側の西別館を中心にシビックゾーンをどのように構築していくかということで検討しています

<p>そのような施設を集約して拠点化するというような考え方はないのか。</p>	
<p>道の駅の方が、指定管理が変わったことで、レストランの利益が取られ、モチベーションが下がっていると聞いた。指定管理は必要だと思うが、皆さんが働きたいとか、何のために働いているのかというのが分かるようなまちづくりをしていただきたい。</p>	<p>道の駅には昨年度から改善点の指摘を行っており、改善はされてきている。指定管理は、機械的にやるのではなくて、その都度のその場所の地域風土に合った運営をしていくことが非常に重要なことですので、今後もモニタリングしていきたいと思います。</p>